

【巻頭言】

2023年夏

(日本臨床美術協会 理事長・東京藝術大学 名誉教授) 木戸 修 …… 1

【シンポジウム講演録】

「今、求められる臨床美術の社会的役割」

(東京家政大学) 和田 明人 …… 3

(京都芸術大学) 大野木啓人

(東京家政大学) 保坂 遊

(Ms'palette 主宰) 丸本 真代

【特集「臨床美術の評価を考える -エビデンスとナラティブの視座から-】

高次脳機能および精神科医療からみるアート

～精神科外来におけるアートと評価～

(医療法人敦賀温泉病院 理事長・院長) 玉井 顯 …… 17

認知症に対するアートセラピーとエビデンス

(城西国際大学看護学部) 川久保悦子 …… 25

臨床美術をどのように検証するか

—エビデンス・アプローチとナラティブ・アプローチを中心に—

(東京家政大学) 保坂 遊 …… 35

【原著】

制作場面を通じた相互交渉における語りの特徴と快の感情的変化

—臨床美術アートプログラムを通して—

(志木市立教育サポートセンター) 安齋 章子 …… 41

(文京学院大学人間学部) 上村佳世子

【研究報告】

「きっかけ」にして描く臨床美術のアートプログラム

～ アートプログラムの類型化の試み ～

池原裕可里 …… 55

〈いきいき感〉の自己評価アンケート，ワークショップへの応用についての考察

(特定非営利活動法人アート・ウイズ・ライト臨床美術) 土門 環 他 …… 61

【実践報告】

自閉症児を対象とした臨床美術アプローチの実践と考察

(芸術造形研究所) 高橋 文子 他 …… 69

【総説】

創造の喜びを求めて

—精神保健医療福祉における芸術療法の気づきとレジリエンス—

(日本福祉教育専門学校 1年) 西村 優子 ……75

臨床美術学会規約……………81

臨床美術学会・論文集投稿規程……………86

『臨床美術ジャーナル』執筆規程 ……88

臨床美術学会役員……………89